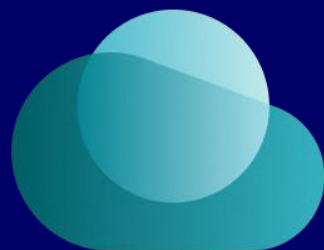


バーチャル教室（仮想デスクトップ[VDI]） 利用者マニュアル



Horizon View の仮想デスクトップ（VDI）を利用し、Windows
パソコン教室と同じ環境を使用することができます

● ▲ ■ a r m o™

 **cnc** 総合情報基盤センター
Computing and
Information Center

第三版 2025.03.03



CONTENTS

1.ご利用手順	P. 2
2.Omnissa Horizon HTML Access を利用する	P. 2
3.Omnissa Horizon Client を利用する	P. 5
1) Omnissa Horizon Client を利用する（初回）	P. 5
2) Omnissa Horizon Client を利用する（2回目以降）	P. 6
3) Omnissa Horizon Client の機能 ① オプション	P. 7
4) Omnissa Horizon Client の機能 ② USB 接続	P. 9
5) Omnissa Horizon Client でローカルPCのフォルダを共有する	P. 10

はじめに

Omnissa Horizon VDI（仮想デスクトップ）[※2024年12月VMwareから名称変更](#)は、いつでも好きな時間帯に、Windows パソコン教室環境（ソフトウェアに一部制限あり*1）にWindows、MacOS、スマートフォン（iPhone、Android）でご利用いただけます。

また、Omnissa Horizon Client を利用すれば、プリンタやディスク、USB もパソコン教室と同じ環境でご利用いただけます。

*1 ソフトウェア一覧 (<https://www.cnc.kyusan-u.ac.jp/facilities/pdf/app.pdf>)



1.ご利用手順

手順1) 学内ネットワークに接続する

仮想デスクトップ（VDI）を利用するには、事前に学内ネットワークに接続する必要があります。詳しくは、以下URL にアクセスし、【KIND VPN ご利用ガイド】のとおり学内ネットワークに接続してください。

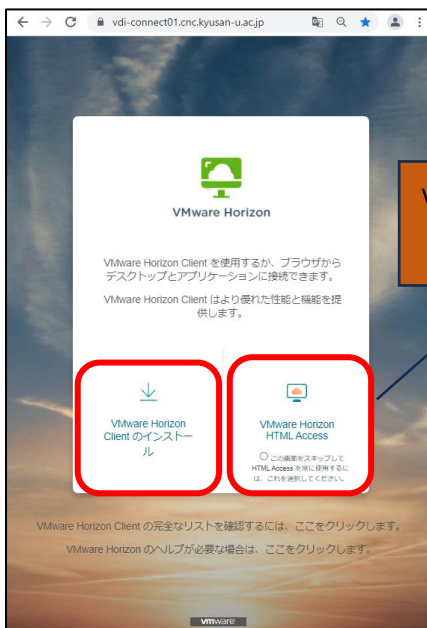
<https://www.cnc.kyusan-u.ac.jp/user-guide/kind-vpn.php>

手順2) Horizon View トップ画面に接続

Horizon View トップ画面に接続します。URL は以下のとおりです。

<https://vdi-connect01.cnc.kyusan-u.ac.jp/>

手順3) Horizon View を使用する



上記が Horizon View トップ画面です。

Omnissa Horizon HTMLAccess（画像右側）もしくは Omnissa Horizon Client（画像左側）どちらか使いやすい方から仮想デスクトップ（VDI）ご利用ください。

Omnissa Horizon HTMLAccess はこのままログインすればご利用いただけます。Omnissa Horizon Client はクライアントのインストールが必要です。

次章以降でご使用方法について説明します。

2.Omnissa Horizon HTML Access を利用する

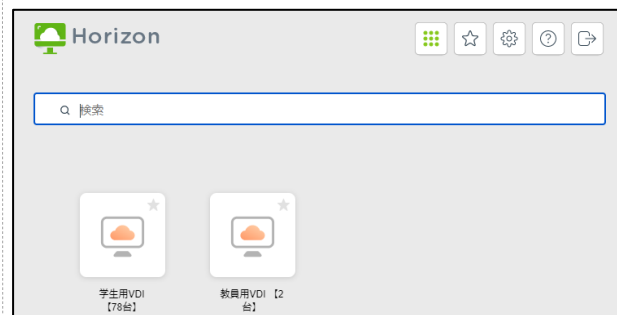
この章では、ブラウザから Horizon View を使用方法を説明します。



(1) 「Omnissa Horizon HTML Access」をクリックします。



(2) ユーザー名（メールアドレスの@より前の部分）、パスワード（K's Life と同じ）を入力して、「ログイン」をクリックします。



(3) 学生用と教員用では利用できるソフトウェアが一部異なります。ソフトウェア一覧は[こちら](#)。教員用に空きがない場合は学生用を利用させていただいて大丈夫です。（学生には「教員用 VDI」のボタンは表示されません。）



Omnissa Horizon HTMLAccess を利用して VDI を使用した場合は、USB メモリなどの外部記憶装置を認識することができません。USB メモリなどご使用になりたい場合は、Horizon Client をインストールしてご利用ください。

Omnissa Horizon HTML Access の機能

Omnissa Horizon HTML Access の機能について説明します。



画面左側のタブをクリックするとメニューが表示されます。

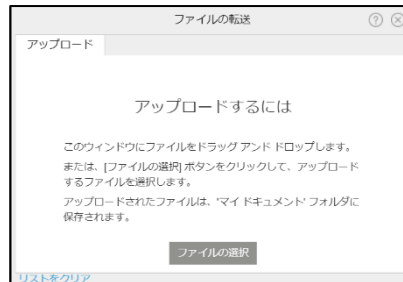


各メニューボタンを押した時の動作について、以下で説明します。



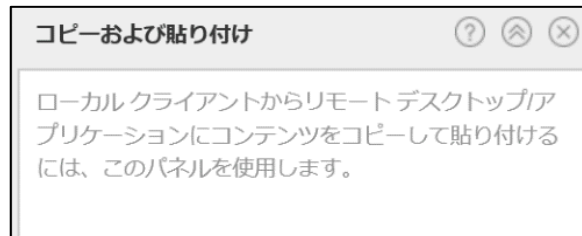
① [Ctrl + Alt + Delete を現在の領域へ送信]
[Ctrl][Alt][Delete]キーを押した時に表示される画面がリモート接続先に表示されます。

② [ファイル転送パネルを開きます]



このボタンをクリックすると、上記ウィンドウが表示されます。このウィンドウ上に、アップロードしたいファイルをドラッグ&ドロップしてアップロードできます。アップロードされたファイルはリモート接続先の「マイドキュメント」フォルダに保存されます。

③ [文字列のコピー&ペースト]



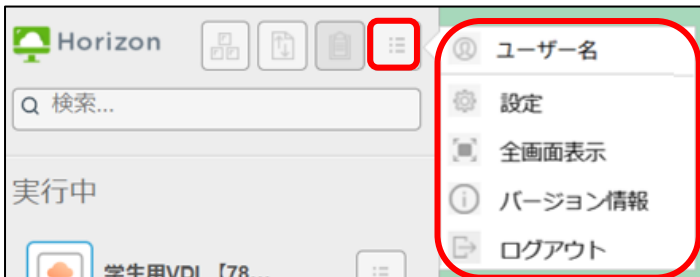
ローカル PC 上の文字列をコピーしたものをリモートデスクトップ接続先のアプリケーションに、直接、貼り付けが出来ない場合に、このパネルが表示されます。

ユーザは、ローカル PC で記載された文字列をコピーして、一旦このウィンドウに張り付け、パネル上の文字列を再度コピーして、リモートデスクトップ先のアプリケーションに張り付けします。

Chrome、Microsoft Edge 81 以降 Firefox からリモートデスクトップ接続している場合は、直接ローカル→リモートデスクトップ接続先へ文字列をコピー&ペースト可能なので、このウィンドウは表示されません。

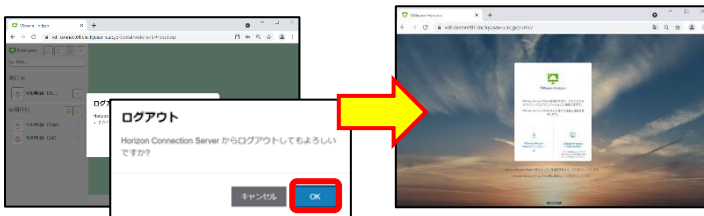


④ [メニューを開く]



上記メニューが開きます。

- ・ユーザー名…自分のIDが表示されます。
- ・設定…画面表示などの設定メニューが開きます。
- ・バージョン情報…このOmnissaのバージョンが表示されます。
- ・全画面表示…リモートデスクトップ接続した画面が全画面表示されます。全画面表示を終了するときはEscキーを押します。
- ・ログアウト…ログアウトの確認画面が開きます。ログアウトを実行すると、Horizon View トップ画面が表示されます。リモートデスクトップ接続を終了する場合はこちらを実施して下さい。



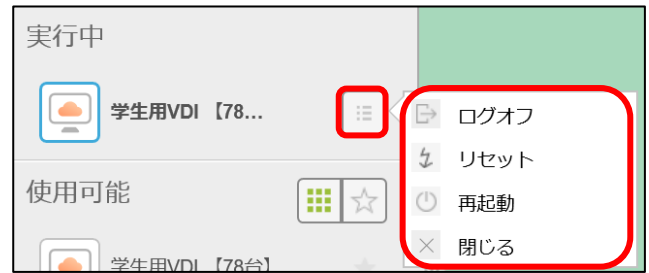
⑤ 検索



VDIの名称を入力(例:「教員」「教」など)すると、条件

に合うVDIが表示されます。

⑥ [メニューを開く]



上記メニューが開きます。いずれも、それぞれのメニュー実行の確認画面が開き、実行するとリモートデスクトップへの接続が切断され、Horizon Viewのメニューが表示されます。



⑦ すべて表示

全てのVDIが表示されます。

⑧ お気に入りに表示

お気に入り登録しているVDIのみが表示されます。

⑨ 起動

選択したVDIが表示されます。

⑩ お気に入りに追加/お気に入りから削除

星マークを押して、お気に入り追加/削除を切り替えます。そのVDIがお気に入りに登録されていれば、星マークが黄色くなり、追加されていない場合は灰色になっています。



3. Omnissa Horizon Client を利用する

この章では、Omnissa Horizon Client を使用する方法を説明します。

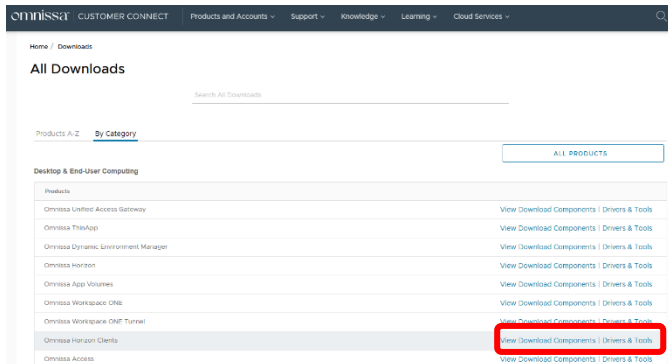
初回のみ、Omnissa Horizon Client のインストールが必要です。以下の手順を実行してください。

1) Omnissa Horizon Client を利用する（初回）

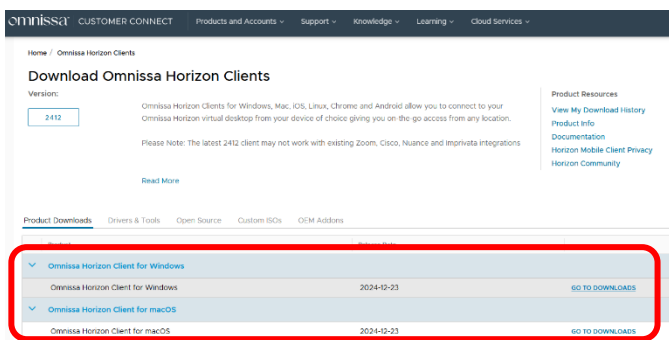
(1) 左側の「Omnissa Horizon Client のインストール」をクリックします。



(2) 「Omnissa Horizon Clients」の「View Download Components」をクリック



(3) 使用する PC の OS をクリック



(4) DOWNLOAD NOW からダウンロードします。



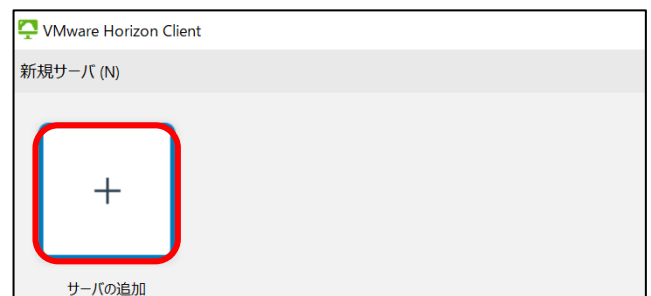
(5) インストールが完了したら、exe ファイルをクリックし、「同意してインストール」もしくは「同意してアップグレード」をクリックします。



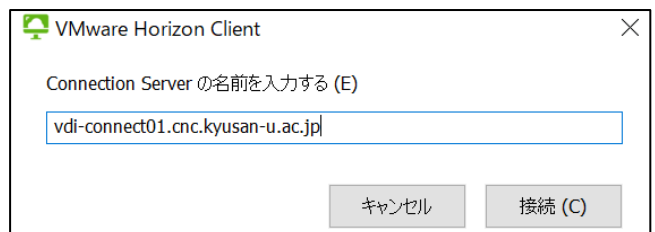
(6)完了後、表示に従ってシステムの再起動を行います。



(6) 「+」をクリックします。
※旧画面を載せています。

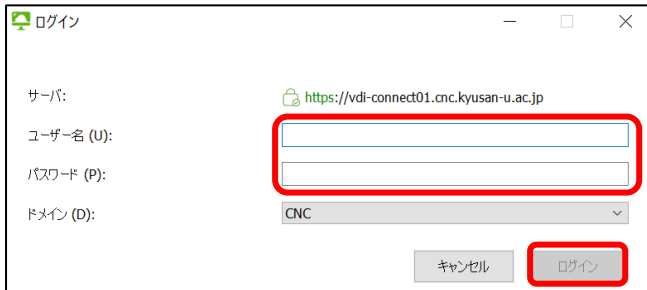


(7) 「vdi-connect01.cnc.kyusan-u.ac.jp」と入力して、「接続」をクリックします。





(8) ユーザー名（メールアドレスの@より前の部分）、パスワード（K's Life と同じ）を入力して、「ログイン」をクリックします。



(9) 学生用と教員用では利用できるソフトウェアが一部異なります。ソフトウェア一覧は[こちら](#)。
教員用に空きがない場合は学生用を利用させていただいて大丈夫です。（学生には「教員用 VDI」のボタンは表示されません。）



(3) ユーザー名（メールアドレスの@より前の部分）、パスワード（K's Life と同じ）を入力して、「ログイン」をクリックします。



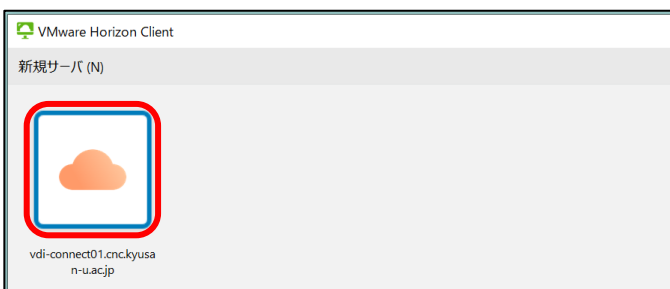
(4) 学生用と教員用では利用できるソフトウェアが一部異なります。ソフトウェア一覧は[こちら](#)。
教員用に空きがない場合は学生用を利用させていただいて大丈夫です。（学生には「教員用 VDI」のボタンは表示されません。）



2) Omnissa Horizon Client を利用する（2回目以降）

(1) Omnissa Horizon Client を起動します。

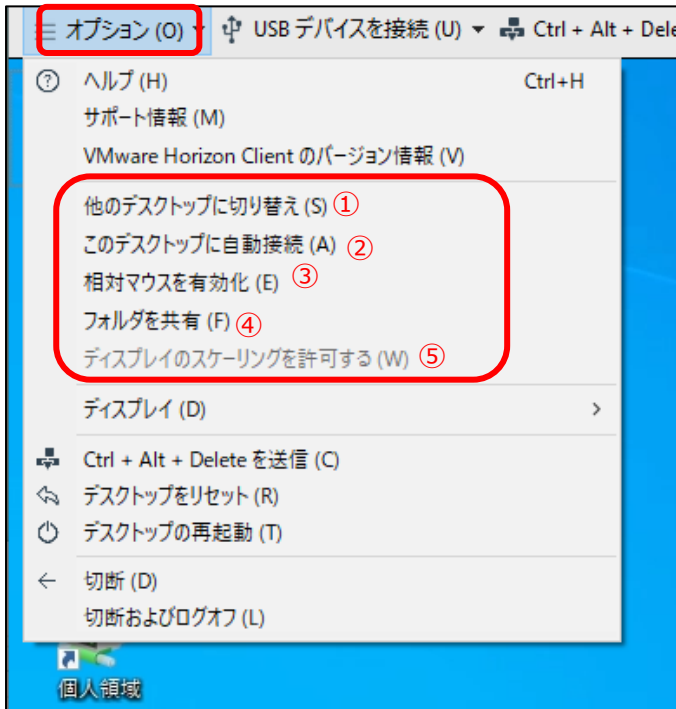
(2) 「vdi-connect01.cnc.kyusan-u.ac.jp」をダブルクリックします。





3) Omnissa Horizon Client の機能 ① オプション

Omnissa Horizon Client のオプションのメニューについて説明します。

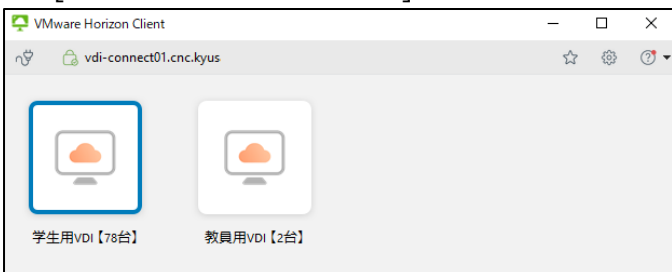


画面上側の「オプション」をクリックするとメニューが表示されます。

以下で、それぞれのメニューについて説明します。

この頁では、[他のデスクトップに切り替え]～[ディスプレイのスケールリングを許可する]まで説明します。

① [他のデスクトップに切り替え]



このメニューをクリックすると、VDI の選択画面が開き、別のマシンへ接続の切り替えが可能になります。

② [このデスクトップに自動接続]

このメニューをクリックすると、次回接続時に、同じマシンにサインインすることが可能になります。解除したい場合は、再度このメニューをクリックします。

③ [相対マウスを有効化]

このメニューをクリックすると、ご自身のマウスカーソル操作が VDI 画面上で直接可能になります。

この機能を有効にしていると、VDI 画面内ではマウスカーソル操作ができなくなりますのでご注意ください。この機能を無効するには、[Ctrl] キーと[Alt] キーを同時に押します。

④ [フォルダを共有]

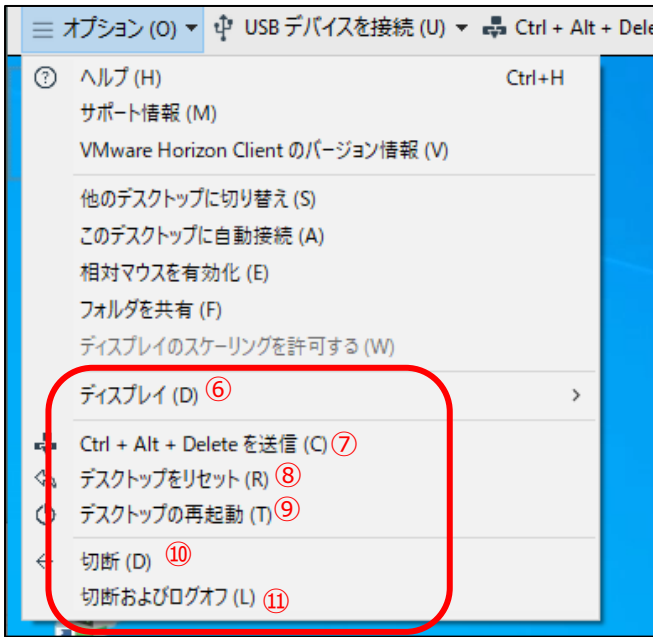
このメニューをクリックすると、ドライブ共有画面が開き、ご自身のパソコン上のフォルダを、Omnissa Horizon Client 上から直接操作できます。

操作方法は、別途、[5) Omnissa Horizon Client でローカル PC のフォルダを共有する]（10 ページ）の章に記載します。

⑤ ディスプレイのスケールリングを許可する

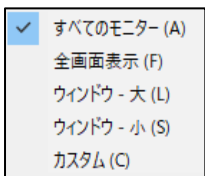
このメニューはご利用いただけません。

ディスプレイのスケールリング（サイズ変更）を実施する場合は、マウス操作か手動で、もしくはこの下のメニューの「ディスプレイ」から実施します。



この頁では、[ディスプレイ]～[切断およびログオフ]まで説明します。

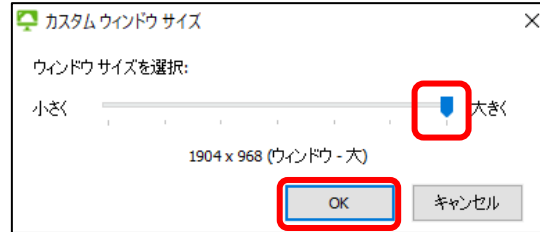
⑥ ディスプレイ



このメニューをクリックすると、ディスプレイの表示モードが表示され、表示を変更できます。

- すべてのモニター を選択すると、ウィンドウをマルチモニターに表示します。初期表示ではこのモードが選択されています。マルチモニタの設定をしていない場合で、他のモードからこちらに切り替えると、ウィンドウが全画面で表示されます。
- 全画面表示 を選択すると、リモート デスクトップのウィンドウを全画面で表示します。
- ウィンドウ - 大 を選択すると、リモート デスクトップのウィンドウ サイズを 1904 x 978 ピクセルに設定します。
- ウィンドウ - 小 リモート を選択すると、デスクトップのウィンドウ サイズを 640 x 480 ピクセルに設定します。

- カスタム を選択すると、リモート デスクトップのカスタム ウィンドウ サイズを設定するスライダーが表示されます。



サイズを変更するには、画面の青色のスライダーを動かしてサイズを選択し、[OK]ボタンをクリックして終了します。

⑦ [Ctrl + Alt + Delete を送信]

[Ctrl][Alt][Delete]キーを押した時に表示される画面がリモート 接先に表示されます。

⑧ デスクトップをリセット

リモート デスクトップのオペレーティング システムが応答せず、リモート デスクトップを再起動しても問題が解決しない場合のみ、こちらを実施します。

このメニューをクリックすると、リモート デスクトップがリセットされます。

⑨ デスクトップの再起動

このメニューをクリックすると、リモート デスクトップを再起動します。

⑩ 切断

このメニューをクリックすると、ログオフせずにリモート デスクトップへの接続を切断します。

⑪ 切断およびログオフ

このメニューをクリックすると、ログオフしてリモート デスクトップへの接続を切断します。



4) Omnissa Horizon Client の機能 ② USB 接続

Omnissa Horizon Client では、ご自身のパソコンに接続した USB デバイスを Horizon Client 上でご利用頂けます。

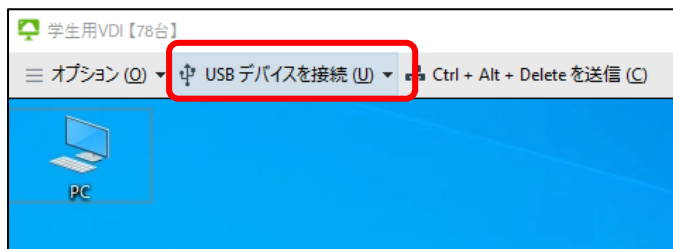
以下で、ご利用方法を説明します。

4)-1.接続方法

(1) USB デバイスをご自身のパソコンに接続します。

ここでは、[Apple iPhone]を接続します。

(2)



Omnissa Horizon Client の画面上部の [USB デバイスを接続] をクリックします。

(3)



Omnissa Horizon Client で、操作したいデバイスを選択します。ここでは、[Apple iPhone]を選択します。

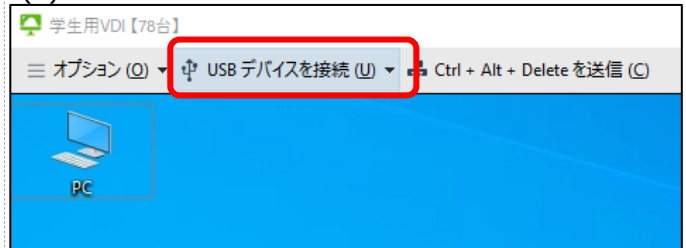
(4)

デバイスが接続されます。

通常のパソコンにデバイスを接続したときと同じように操作が可能です。

4)-2.取り外し方法

(1)



Omnissa Horizon Client の画面上部の[USB デバイスを接続] をクリックします。

(2)



現在、接続中のデバイスにチェックマークがついているので、こちらをクリックします。

(3)



Omnissa Horizon Client からデバイスが取り外されました。[USB デバイスを接続] をクリックすると、デバイスの前のチェックが消えており、Omnissa Horizon Client からデバイスが取り外されたことが確認できます。



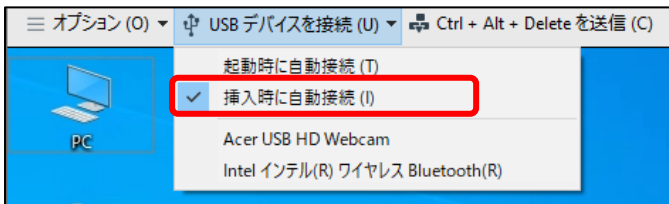
4)-3. その他の機能

【起動時に自動接続】



このメニューを選択すると、Omniassa Horizon Client 起動時に、ご自身のパソコンに接続されている USB デバイスが自動で Omniassa Horizon Client に接続されます。

【挿入時に自動接続】

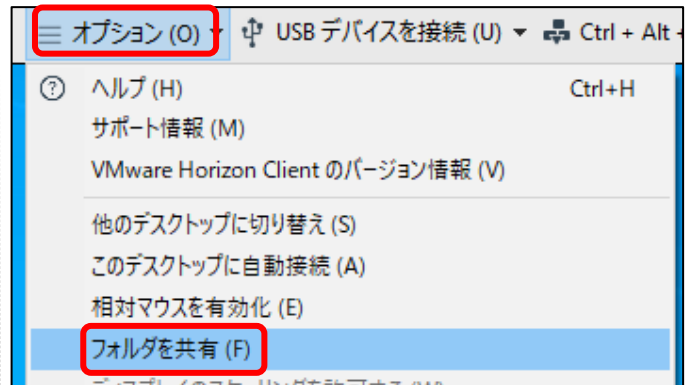


このメニューを選択すると、USB デバイスがご自身のパソコンに接続された時、自動で Omniassa Horizon Client に接続されます。

5) Omniassa Horizon Client でローカル PC のフォルダを共有する

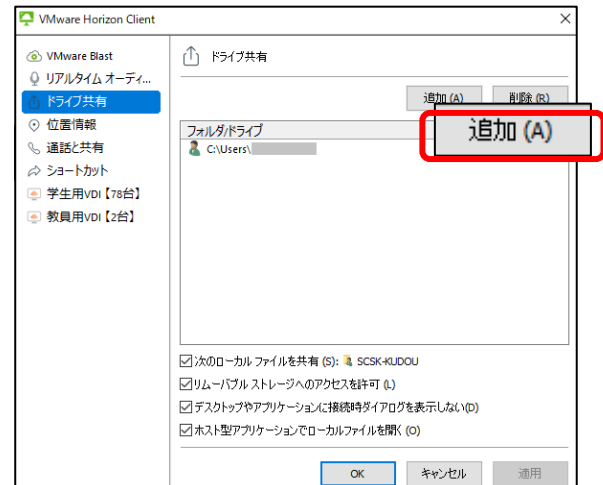
ご自身のパソコン上のフォルダを、Omniassa Horizon Client から共有する方法について説明します。

(1)



画面上部の「オプション」をクリックしてオプションメニュー一覧を表示して、「フォルダを共有」をクリックします。

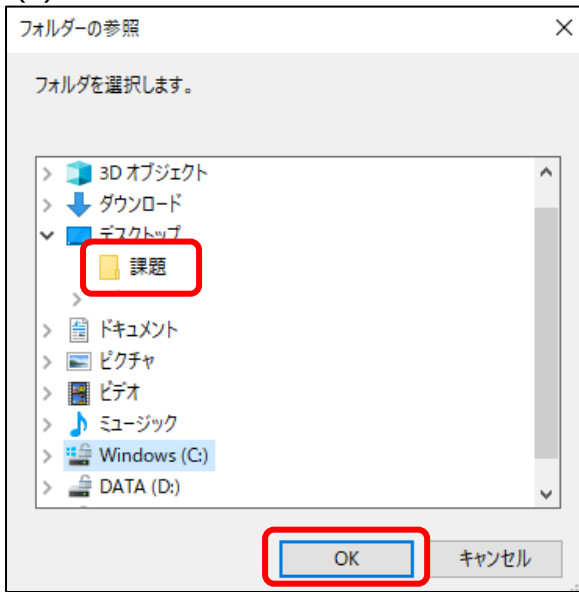
(2)



「追加」をクリックします。

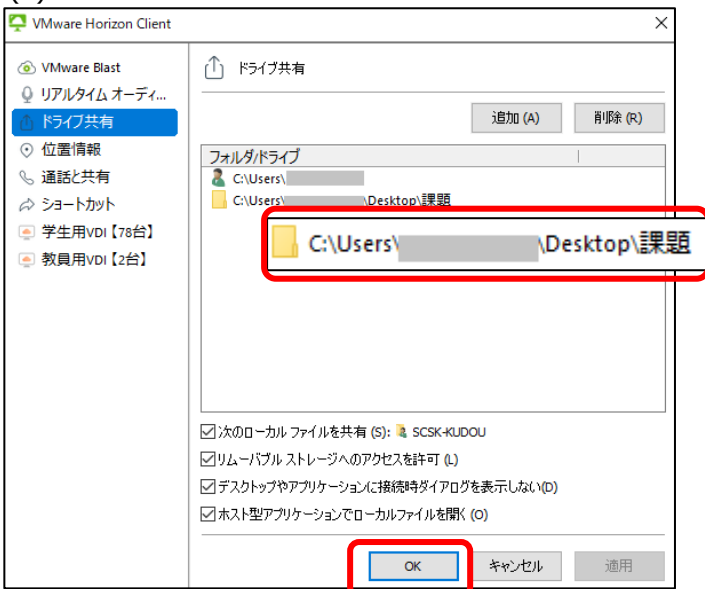


(3)



ご自身のパソコンの環境が開くので、Omnissa Horizon Client で共有したいフォルダを選択して、[OK]をクリックします。
ここでは、「デスクトップ」上の「課題」フォルダを選択します。

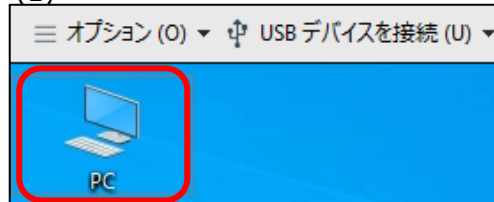
(4)



先ほど選択したファイルが表示されていることを確認して、問題なければ「OK」をクリックして画面を閉じます。

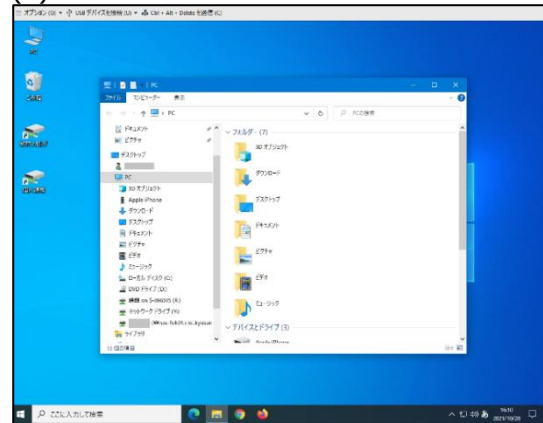
共有されたファイルを Omnissa Horizon Client で確認する方法について説明します。

(1)



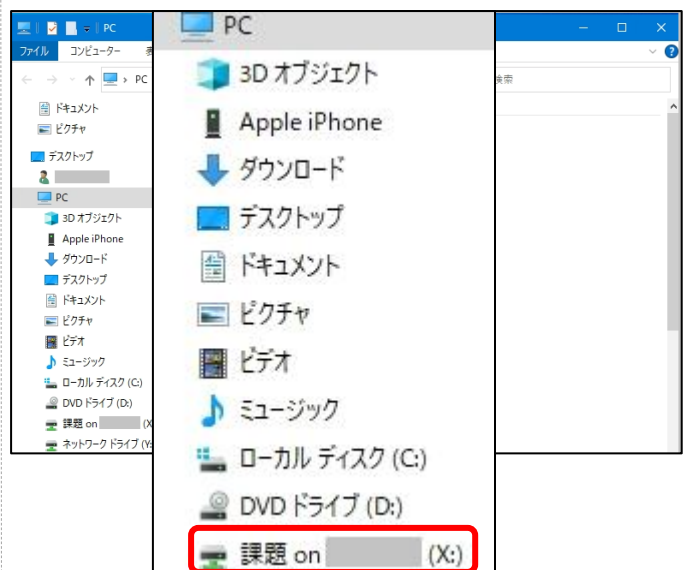
画面上の「PC」をダブルクリックします。

(2)



PC フォルダが表示されます。

(3)

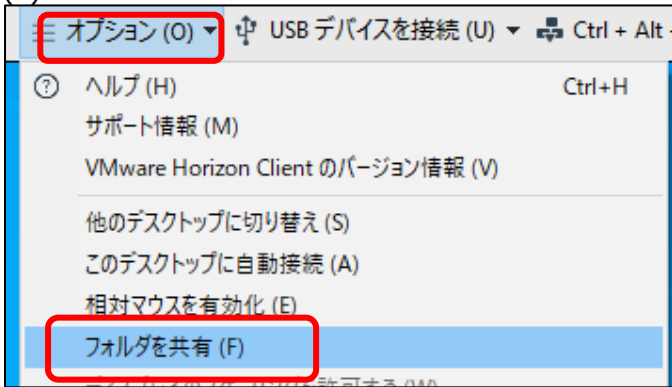


フォルダ左側のナビゲーションウィンドウの「PC」の階層に、先ほど追加したフォルダが「フォルダ名 on ご自身のパソコンの名前」と表示されます。



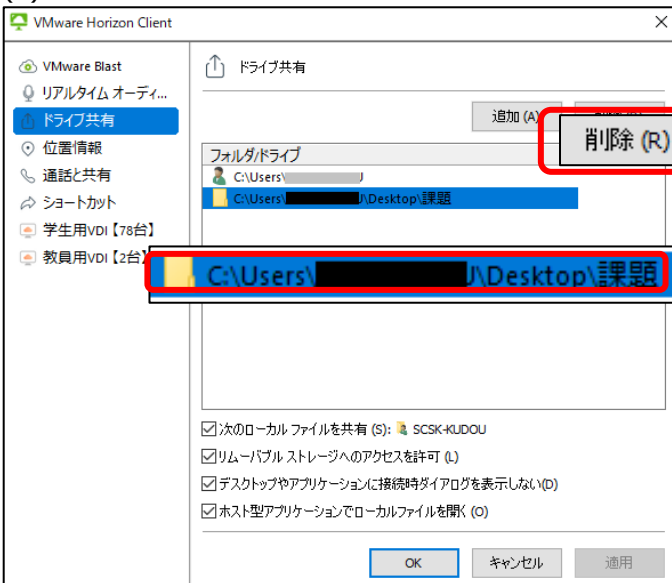
Omnissa Horizon Client とご自身のパソコンのファイルの共有を解除する方法について説明します。

(1)



画面上部の「オプション」をクリックしてオプションメニュー一覧を表示して、「フォルダを共有」をクリックします。

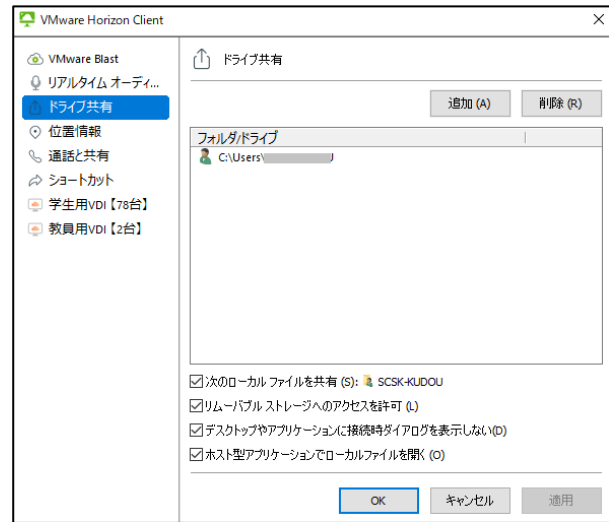
(2)



共有を解除したいフォルダを選択して、「削除」をクリックします。ここでは、「デスクトップ」上の「課題」フォルダを選択します。

※ 「削除」を押しても、フォルダそのもの（ここでは「課題」フォルダ）は削除されません。

(3)



フォルダ/ドライブからフォルダが消え、共有が解除されました。